

下関市入札監視委員会（第11回）審議概要

開催日時	平成19年8月20日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 木村弘巳（公認会計士） 中谷正行（弁護士）		
審議対象期間	平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日		
審議対象総件数	116件	（抽出工事名称）	
抽出案件	条件付一般競争入札	64件	下関市立しものせき水族館増築建築主体工事
	指名競争入札	46件	尾袋配水場前～吉見奥畑ポンプ場間 250mm配水管布設工事（第5工区）
	随意契約	6件	国際ターミナル人道橋改修工事
指名停止等の運用状況	3件18社		
低入札価格調査制度対象工事の発生状況	3件		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
入札方式別発注工事総括表	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市長部局の案件について件数が減って金額が増えたことについてどう考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道部が上下水道局に統合されたため件数が減っている。金額的には水族館、人工島など大規模な建屋が出たことによるものと考えている。</li> </ul>
「下関市立しものせき水族館増築建築主体工事」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>増築計画は当初からある計画か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初は5年ごとにリニューアルして入館者を確保する計画であったが、累計入館者数が当初の見込みよりも多かったため2年遅れてリニューアルすることとなった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい施設の売り物は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外展示に日本で初めてペンギン保護区を再現するので、ペンギンの自然に近い生態、巣作り等を見てもらうことができる。日本のペンギン水槽で最も深いものは、海遊館の5.38mであり、それ以上深いペンギン水槽は世界に例がなく、今回の海響館の水槽は水深が6mとなり日本一すなわち世界一の水深の水槽となる。また、水槽にトンネルを設けるので上下左右で観察することができる。この3点が他の水族館にな</li> </ul>

	い売り物と考えている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加数が3企業体であるが設計金額からすると少ないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6企業体を見込んでいた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>施工実績をいくりにするかは何か基準があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大体設計金額の半分程度としている。</li> </ul>
<p>「尾袋配水場前～吉見奥畑ポンプ場間 250mm 配水管布設工事（第5工区）」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震管とはどういうものか。</li> <li>金額的にはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震で揺れても離脱防止を兼備えた水道管で、地震時における有効性が顕著である。</li> <li>若干高い。250mmであれば一割程度高くなる。最近は、価格は下がってきている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後はこの管を普及させていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての管を計画的に更新していくというのではなく、新設等の時に切り替えていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>優良業者は何社あったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良業者としての評価項目に照らして9社を選定した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「優良」の見直しは行うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事成績について毎年見直すことになる。その他の評価項目についてはその都度評価している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量が多いことがなぜ優良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度が高い工事であることから、</li> </ul>

<p>業者による施工が求められることになるのか。</p>	<p>工事成績が高い業者は施工監理が適正に行えるものということで優良業者による施工を求めた。</p>
<p>「国際ターミナル人道橋改修工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第1回から第2回の見積もりの経過はどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回目が予定価格より高い場合は、その場で2回目の見積もりの意思を確認したうえで見積書を提出してもらっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 何回まで行うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3回までは見積もりを取ることにしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3回行って予定価格内におさまらなかった場合はどうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不調となる。設計の見直しを行ったり、相手方の見直しを行うこととなる。</li> </ul>